

株式会社 ○○様 ISO9001 内部監査員養成コース スケジュール

1. 目的 内部監査員が ISO9001:2008 規格及び (株) ○○様の品質マネジメントシステムの要求事項を理解するとともに、システムの有益性監査を実施できる力量を習得する。
2. 受講者 20名
3. 講師 IRCA 登録品質マネジメントシステムプリンシパル審査員 西村三郎
4. 日時 2010年2月13日(土) 1日間
5. 使用テキスト 「ISO9001 規格要求事項の理解」
「監査技法」
「(株) ○○ 品質マニュアル」
6. コース予定表

8:30～17:30

時間	内容	演習
8:30～9:45	・ISO9001:2008 のポイント ねらい及び QMS 要求事項の要点 (○○様品質マニュアルを中心にして)	・質疑応答
9:45～10:00	休憩	
10:00～10:30	グループ演習	グループ演習 「ISO9001 要求事項の理解」
10:30～11:00	監査技法 第1章 監査の基本ステップ 第2章 内部監査の計画・役割と責任 第3章 有効性監査について	
11:00～12:00	演習 監査チェックリストの作成	・各監査チームに分かれ、午後の模擬監査領域の関連するマニュアル・業務手順等を読んで、有効性監査の監査チェックリストを作成する。
12:00～13:00	昼食・休憩	
13:00～13:30	監査技法 第4章 監査の実施テクニック 第5章 所見の見直し	
13:30～15:00	模擬監査	・グループごとに分かれて、監査チームで作成したチェックリストを使用して、模擬監査を実施する。
15:00～15:15	休憩	
15:15～15:30	監査技法 第6章 報告及びフォローアップ	・不適合、観察事項の整理 ・監査報告書の作成
15:30～16:15	監査結果のまとめ及び発表	・不適合、観察事項の整理 ・監査報告書の作成
16:15～16:45	監査実習の自己分析 コース要約	・監査実習の自己分析 ・自己分析結果の発表
16:45～17:30	簡単なテスト	

注 1) 模擬監査（及び演習）の実施要領

1. 監査チェックリストの作成演習及び模擬監査は、規格条項による逐条監査ではなく、プロセスアプローチによる監査を実施します。
2. 参加者が 4 グループに分かれ、6 つの監査チーム（A1 チーム、A2 チーム、B1 チーム、B2 チーム、C1 チーム、C2 チーム）を編成する。
3. 午後の模擬監査では
 - A1 チームが A2 チームメンバーの所属部門を監査する 約 40 分
(B1 が B2、C1 が C2)
 - A2 チームが A1 チームメンバーの所属部門を監査する 約 40 分
(B2 が B1、C2 が C1)
3. 参加者は、模擬監査を受けるときに使用するため、差し支えない範囲で自部門の部門目標（品質目標及び／又はプロセスの有効性指標の目標）、活動計画・主要な規定・記録等を持参して研修に出席するようご手配下さい。
4. チェックシートの作成演習は、各自その模擬監査で使用するチェックシートを作成していただきます。

注 2) 内部監査員研修の有効性評価

内部監査員研修では、ISO19011 に準拠する教育訓練の有効性評価が必要です。
監査の実務能力は模擬監査で確認しますが、知識取得についての簡単なテストを行います。
上記スケジュールは標準的なものですが、時間的に早く終了したい場合、或いは、模擬監査等が遅れた場合は、各自テスト問題を持ち帰り回答記入後、後日提出といたします。